

授業科目	人体形態機能学Ⅱ (呼吸器学、血液・ 循環器学)	単位数	1 単位	講師名	非常勤講師 医 師
		時間数	30 時間		
学年	1 学年		履修期	前期	
授業の目標	呼吸と血液循環の仕組みについて、両者を関連づけて理解する。				
授業内容 (授業計画)	呼吸器学（8 時間）		循環器学（16 時間）		
	呼吸と血液の働き（第 3 章） 呼吸器系の構成 上気道の構造と機能 下気道と肺の構造と機能 胸膜の構造と機能 縦隔 呼吸の種類 呼吸の仕組みと呼吸筋 呼吸気量 ガス交換とガスの運搬 呼吸と肺循環 呼吸運動の調節 呼吸器の病態生理		血液の循環とその調節（第 4 章） 循環器系の構成 心臓の構造と拍出機能 心臓の収縮 末梢循環系の構造 血液の循環の調節、血圧・血流量の調節 微小循環 リンパとリンパ管 循環器系の病態生理 胎児循環 生体の防御機構（第 9 章 B-D） 特異的防御機構（免疫） 生体防御の関連臓器 代謝と運動 体温とその調節		
	血液学（6 時間）				
	血液の成分と機能（第 3 章 C） 血液の成分と働き・物理化学的特性 造血と造血因子 止血機構 血液型				
評価方法	筆記試験				
注意事項					
教科書	1．系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学〔1〕(医学書院) 2．目で見えるからだのメカニズム (医学書院)				
参考図書	特記なし				